

審判部取り決め事項

●服装等について

- ①アンダーストッキングとソックスを合わせて2枚着用のこと。
(平成27年全日本大会より適用。平成26年7月21日監督幹事会にて決定済)
- ②ユニフォームは統一し、ロングパンツはゴムの入ったものを着用、裾を絞りアンダーストッキングを見せること。
- ③スコアラー、代表者は私服、スポーツウエアで品位を損ねないものを着用し、ベンチ入りする者は、チーム統一の帽子を着用のこと。(子供たちをケアするお母さん2名は除く)

●試合前の練習について

- ①試合前ノック(バットの使用)は第一試合の当該チームのみ可とする。(シートノック除く)
- ②試合前のグラウンド内練習は監督(30番)、コーチ(29番、28番)のみ可(背番号を見せること)とする。

●選手について

- ①選手使用の手袋は、ポケットに全部納めること。
- ②ボールボーイはヘルメット着用を厳守すること。(球審にボールを手渡す際はヘルメットを取らない)
- ③捕手と控え捕手はプロテクター、マスク(スロットガード付)ヘルメット、レガース、ファウルカップ着用のこと。
- ④選手整列の際は帽子を取らない。
- ⑤ランナーコーチはベンチ内でヘルメットをかぶってから、出ること。
- ⑥相手チームへの野次は厳禁。

●応援(観客席)について

- ①決められた場所で応援すること。
- ②ネット裏は試合当該チームの関係者は立ち入り禁止(ビデオカメラは可)
- ③ベンチ内、観客席でのマナー(暴力、暴言等)に対し注意、指導しても改まらない場合は、退場もあり得る。
- ④鳴り物、メガホンの使用は認めるが、自チーム攻撃中のみ使用可。マナーを守り必要以上の使用禁止。
ただし、グラウンドルールを優先する。
- ⑤ベンチ入り以外のチーム関係者は、観客席等から自チームの選手に指示を出すこと禁止する。

●その他

- ①各面に第4審判員を配置する。第4審判員は当該試合の審判員の1人で、判定、アピール、確認に対し助言する権限を有する。
- ②監督は、ピッチャーマウンドへの行き帰りを駆け足で行うこと。
- ③試合前、試合中を問わず、グラウンド内での投球練習、キャッチボールは大人が相手をしないこと。
- ④チーム側からの「ボークだ！」等のコールは禁止する。
(ボークは当該審判員が決めることで、アピールはない)
- ⑤投手が投球動作に入った時、攻撃側ベンチ(応援席を含む)は“威嚇”するような大声を出してはいけない。
- ⑥試合中の携帯電話の使用やベンチを出ての喫煙は禁止。当該試合のベンチ入り認められない場合もあり得る。
- ⑦ファウルボールは水で洗い、きれいに球審に返すこと。
- ⑧バックネット前のファウルボールは攻撃側の選手が取りに行くこと。
- ⑨2試合目以降の練習(グラウンド内、外野)は、試合の妨げになる場合は禁止する。